滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

（集 …價鐵五吊四百文至五吊
共上車三十餘輛
共來七十餘輛
六吊九百至六吊八百

一…紙 一…
一フールスカツプ全 一…
一中判洋紙 全 四圓
一半紙罫紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一筆筒 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 …
一箱火鉢 一對 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 六圓以上九圓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話百十八番 支配人室 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
プロメシユス號 四月廿八日未明出帆 門司、横濱行
山東丸 五月三日出帆 大沽、芝罘、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告
日海丸 四月廿七日入港
第三多聞丸 四月廿九日出帆門司、横濱行
摩耶山丸
金龍丸、大龍丸、國見丸 四月廿九日入港
萬成源丸 臨時芝罘定期 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシヤルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮洲丸 四月三十日入港乘客謝絶
汕頭丸 五月一日入港 四日出帆門司、神戸行

代理店
ブツシユ兄弟商會
東營口公園地横
遠來洋行（電話二十三）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需 局主人啓

宅合名會社分莊
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印井其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院内分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋胰鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一二三

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行并滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧内西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（播利）百合花牌（利利）均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆治來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤 謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 賴朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大㽡至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌皁酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

自造
煉瓦 ● 瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組（電話八十六番）

發賣
料木、杆子 一丈 一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣
營口元神廟街
捌荷洋行（電話一四七番）

生徒募集
營口瀛華實學院招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可く（江灣特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生倏額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午四點過期不候特白
營口瀛華實學院

新荷着
▲板材木▲木炭
▲牛石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊
營口永世街八十號
喜久洋行（電話百五十二番）

周
鐵道
遼河裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門
（電話八十一號）
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人周鶴雲
運輸部主任高濱麟太郎謹啓

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委託販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業能ク候處今般業務ヲ擴張シ艀船、市内貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮藏

上海
中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
營口西北街 丸重洋行（電話一八番）
牛家屯停車場構内（電話四六番）

材木販賣
荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃 營口南永世街北斗洋行
西櫃 營口西北街塘子胡同内

東京電報

●災變死亡者取調 災變死亡者取調濟の分二百七十七名內日本人三名取調未濟千人內外罹災者救助追々片付く

●聖上の震災御救恤 陛下より桑港震災救恤の爲め二十萬圓御下賜の沙汰あり外相は叡旨を大統領へ電報せり

●二分間に二十萬圓 二十六日外相官邸に於ける桑港震災救助協議會に列席したる京濱の銀行家四十五名にして二分間に二十萬圓の義捐を得たり

●義和宮の入京 義和宮二十六日入京二十八日參內御會食あらせらるゝ由

●大勅祭參列兵の入京 大觀兵式及び靖國神社の大勅祭に付全國各師團より參列者は本日より二十九日各着京すへし

●桑港震災餘聞 桑港當局者の熱心盡力により流行病發生の危險全く無く爲れり發見の死體は崖下の居場に埋葬銀行は卅日內に業務開始せん

●獨乙議會の同情 獨乙帝國議會は伊太利米國の天災に對し深厚の同情を表したり

（以上四月二十七日發電）

倫敦電報

●露國公債の發行 五分利付露國公債額面八九ポンドにて八九、三二五、〇〇〇ポンドを發行しベヤリング兄弟商會は英國の受持高一三、一〇二、〇〇〇ポンドを發行せり

●佛國の罷工 佛國北部に於ける同盟罷工は益盛にしてパリーに於ては五月一日騷動あるならんとの風說行はれ人心洶々たり

●ナタル政府と志願兵 ナタル政府は志願兵に關するトランスバールの申込を受け入れたり

●衞生隊一部の派遣 セント、ジョン衞生隊は一部を派遣中

●擔荷隊及看護班の編制 ダルバンに於ける印度人は擔荷隊及び病院看護班を編制すへしと申込めり

●鹿島乘組將校の饗應 ニューカッスル市は市役所に於て日本軍艦鹿島の將校に午餐を饗應せり

（以上四月二十五日發電）

●杜國の援助とナタル人 トランスバールよりの援助はナタル人が深く謝する所なり

●アゼンスの擊劍會 アゼンスに於ける擊劍會に於て英國人は獨乙人に對し二に對する九點を以て勝利を得たり又一浬游泳競爭も容易に英國人の勝利に歸せり

（以上四月二十六日發電）

雜報

●西藏條約決定
（四月廿五日在北京特別通信員）

近年露國勢力の南漸して印度に迫らんとするや曾て遠く世界の角逐場裡を離れて桃源の夢を貪りし西藏は端なく英露の角逐場と化し兩國互に其の乘ずべき機會を待てり然るに露國は中央亞細亞に於ける土人の西藏人と略ぼ人種風俗を同じくし且つ喇嘛教を信ずる者多きを利用し彼等を通して巧に達賴喇嘛を籠絡し或は達賴喇嘛をして使節を露國に派せしめ或は使節を拉薩に派遣し以て着々其勢力を扶植し將に西藏を以て其藥籠中の者となさんとせり此間に於て英國は機會の以て乘ずべき者なく徒に露國の西藏に於ける我物顏に振舞ふを見唯指啣へて傍觀するのみなりき偶日露の風雲頗る急にして遂に兵を東三省に構ふるや露國は兵馬倥偬復た西藏を顧るに遑あらず英國は以て機乘ずべしとなしヤングハムバンド大佐に命し遠征隊を率ひて西藏探險の途に就かしめたり英國遠征隊は險峻を攀ぢ番兵と戰かひ幾多の固厄を打破せる後始めて拉薩城に入り班禪拉嘛と英藏條約十條を訂結せり該條約內に於て英國は西藏を以て支那の被保護國となし清國を呼ぶに上國との名義を以てし唯西藏の保護國と視做し完全なる主權を認めず且つ英國の西藏に對する優越權を認むしめ他國の勢力を西藏より排斥せしむると共に其の地位を殆と清國と同等の地位に昇さんとせり是れ實に清國に對する一大危機たるのみならず露國に對しても亦誠に一大打擊なりしなり果して清國は駐藏大臣有泰より英藏假條約の訂結せられしを報せらるゝや直に有泰に電命して其假條約を認めざる旨を英國委員に轉送せしめたり露國も亦假條約訂結せらるゝの報告に接するや直に駐清露公使に命し清國政府に向ひ强硬なる抗議を提出せしめたり是に於て清國の英藏假條約に對する反抗の態度は益强硬を極め再三再四駐藏大臣有泰に打電して該條約の不認可を宣言したり然りと雖も英國は堅く其主張を固持して動かず該假條約の有効を切言し清國政府に其承諾を迫れり是に於て清國政府は已むを得ず該假條約を再議に附する事を承認し當時天津海關道たりし唐紹儀を以て全權委員に任命し印度に赴き印度總督と西藏問題談判に當たるべきを命じたり唐紹儀は昨年初夏北京を辭してカルカッタに赴むき印度總督と談判を開始せり然るに印度總督は該假條約を提出して是を承認せんことを求め唐紹儀は各條件に對し悉く修正案を提出の殊に清國は西藏の上國なりとの一節に對しては極力反對說を唱へ上國の二字を改めて主國の二字となし以て清國の西藏に對する完全主權を承認せしめんと欲し彼此兩委員互に其主張を固執し一歩も讓步せず將に談判破裂を見んとせり是に於て唐紹儀は病と稱して談判を中止し終に昨年末に於て歸京し爾後清國政府は唐紹儀の書記官たりし張蔭棠を以て談判委員とし續けて談判の進行に勉めしも如何せん英清兩國の殊懸千里遲々として稍進步を見ず是に於て清國政府は外務部と會議して彌談判を北京に移すに決し本月中旬より外務部と英國公使サトー氏との間に談判を開始せり然るに如何なる風の吹き回はしにや一年の長日月を費して殆と進步を見ざりし該談判は北京に移されてより未だ旬餘ならず會議の數未だ十回を過ぎざるに去る二十一日に於て余は確實なる筋よりして西藏會議決定し不日調印すべしとの消息を探悉せり而も事の餘りに意外なるに聊か疑なき能はず更に支那大官の間に於て探りを入れしに殆ど疑なき者の如く且つ今日に到り絕對的確實なりとの根據を見出すに到れり（未完）

●吉林雜觀（六）
一樓客

露國と省城の行政

清國の弱點は形式に拘泥して實質を顧みざるにあり名義を主として實利を輕んずるにあり近時中央となく地方となく變法自强と唱へ清國の清國と叫び利權回收と論じ銳意熱心邦家の隆運を欲するが如くなるも其實彼等志士の頭腦には忠君なく愛國なく唯だ自家の榮達權勢の獲得あるのみ故に彼等に與ふるに形式を以てし名義を以てすれば彼等は强いて實質を求め實利を回收せんとするものにあらず彼等は清國と外國との間に在つてコンミツシヨンを把握すれば可なり此コンミツシヨンなるものは位置可なり金錢可なり前奉天交涉局長李席珍の如きは露清間に踞して金錢のコンミツシヨンを收得せるものなり現に吉林將軍達桂は位置のコンミツシヨンを得たるものなり既に莫大のコンミツシヨンを握れり單に形式を以て滿足するや宜なりと云はざる可らず吉林省城の行政の如きも將軍は形式的に施設するに過ぎず其實際は露國の思ふ存分に施設しつゝあるを見る露國は清國の弱點を解す如何にせば其弱點を抑ゆべきかを知る一度び露國に近接せる清國官吏は概して魅せられざるものなし況んや達將軍の如き自ら露國を恩人と爲すものに於てをや吉林城內は一見すれば恰も清國の清國たるか如き觀あり交涉局あり對外交涉に關する一切の措置を採りつゝあり巡警局あり省城警察に關する百般の手段を採りつゝあり鎭務處あり軍事に關する施設を爲しつゝあり學務處あり學事に關する萬般の設備を爲しつゝあり而して是等各衙門の官吏は凡て之れ清國人たり官憲の威儀や堂々たり行政の形式や燦然たり然るに城內に露國カミツサー衙門なるものありカミツサーは政治的頭腦を有する露國大佐某にして陰然是等各官衙の監督役たりカミツサーの上席に外務出身の文官某あり清國官憲は呼ぶに欽差を以てす乃ち知る此文官某なるものは露國の欽差大臣にして將軍達桂の顧問とも云ふ可きなり將軍對手に欽差大臣の在るあり各總辦對手にカミツサーの在るあり而して省城警察顧問として陸軍士官數名の在るあり露國兵一隊は一日三回城內を巡邏しつゝあり是等の露國官憲は清國官憲に對して無限の權力を有し實際に於ける吉林省城の行政は全然露國の手裡に在りと云ふも可なり露清銀行支店あり吉林富豪と密接の關係を有し省城の金融を支配しつゝあり要するに吉林省城の行政は形式上清國の手に在るか如きも其實質に於ては全然露國の思ふ儘に在りと云はざる可らず行政能力に欠けたる清國官憲に對してはドシ／＼露國流を實行するを以て東亞の幸福なりと爲さゝる可らず

●露人と黑龍江礦山 露國が曩に黑龍江將軍と密約して礦山採掘權を獲得せる由は已に聞及へる所なるが這次露公使ポコチロフ氏と清國官憲との間に於て又復黑龍江礦山の續約訂結せられたりと傳ふ今其內容の梗概を擧ぐれは

一、呼倫湖及び額爾古納二河の合流點より貝子河の上流に至る礦山

二、貝子河より烏瑪河の下流に至る西南岸を除き其餘の礦山

三、库瑪爾河より愛琿城に至る礦山

四、愛琿城より觀音山の西方に至る一帶の礦山

五、托羅山以下松花江都魯河一帶の礦山

等なりといふ然れとも清國政府は此密約に對しては專ら打消に力めつゝありといふ

●清人と遼輸改正約款 遼河輸送業組合にては營業上種々の弊害を避けんてふ名目の下に一つの約款なるものを作成したる事は既報の如くなるか今該約款に對し當地にて有力なる清商某は記者に語つて曰く、全體輸送業組合の諸氏は金儲けの爲に商業を營む人なるや將又樂半分の道樂商賣をなす人々なるや我々清商の誠に了解に苦む所なり、熟ら／＼約款なるものを觀るに成程は本人相互に競爭の弊を避け組合の統一を謀ると云ふか主旨のやうなれど這は實に甚しき盲者の論ならずや抑も商業を營む上に於ては到底競爭は免れざる事なり又互に競爭ありて始めて商業の殷盛を謀る所以なり之れ即ち商業上の原則とも云ふべきものなり尙又約款附則第一項を觀るに本則第二項組合事務所へ納入額は船舶の大小及び仕向地の遠近に拘はらず總て一隻に付銀三圓とすと云ふ事を記しあり之れに依つて見れば今假りに鐵嶺又は通江口と近き田庄臺に托送するも同樣に矢張り一隻銀三圓を支拂はざる可からず其上規定の稅金二圓を徵せられ尙又多少の手數料を支拂ふに至つては仕向地に依つては滾車積賃率より以上の諸費用を支拂ふ事となるべし然らは自然利益の大部分は滾車に奪はれ現在の立派な約款も却つて自ら悲境に沈淪する導火線となるやも計られず當業者たる者此際尙一考せられたき事なりと云々

●荻原總領事の消息 奉天總領事に擬せらるゝ荻原守一氏は過般天津に到着し目下北京に滯在中なるが最近の消息に依れば來月初旬頃當地に來らるゝ筈なり

●太田領事官補の旅順行 近々轉任の噂ある太田領事官補は旅順港觀光の爲め昨日出發せりと

●奉天の饑饉義捐金募集 他の財布をはたかす事のみを講じつゝありし奉天旅館料理屋等も組合事務所成立して稍や其面目を改め此次有志者中發起して東北饑饉に對する義捐金を募集しつゝあり、未だ一切に至らざるを以て其總金額を知るを得ざるも、經過甚だ好景氣なりと奉天通信の一節に見えたり

●田添齒科醫の滯營延期 當地齒患者の懇請に由り天津より出張して現に舊高田洋行跡に於て治療に從事せる田添齒科醫は本日限り歸津の豫定なりしも多數齒患者再三の懇請するありて一週間丈け滯營を延期せられたりと云ふ齒痛に惱める人々は期に後れて悔む勿れ

商況

▲清酒 昨今營口に現在する主なる清酒は金露千四五百樽、澤龜約七百樽、鵬翼及び百合正宗七百、春駒三百等也、但し以上の中鵬翼及び百合正宗は余村氏の所有に屬する者なるが從來三成組に於て全氏の依賴を受け媒介販賣に從事しつゝありたるに過般宅合名會社より三成組が債務を履行せさるを以て領事館に請求し三成組の財產一切に對し假差押を執行するに當り合せて又た差押ふる所ありたれば其の七百余樽は宅合名會社の債權担保の姿となり居り販賣不能の事情に在りと云ふ氣の毒なるは其の所有者なる余村氏也、尙は此外に鳳凰正宗もこれあるも、鳳凰正宗は過般來辰馬に於て頻に大連に逆送し一樽を十六圓の三割引と稱へ十一圓二十錢にて安賣りしつゝありと云へば營口に殘留する數が幾何なるかは正確の數得て知り難しとなり更に其の商況は依然として沈靜を持續せるが其の原因は云ふ迄もなく滿洲內地一体に供給の充分なると軍隊の引揚後は需用の漸次減少の一方なるが爲なり其相塲は昨今市內の小賣にて一樽概して十五六圓の中に在りと云ふ

▲酒保品 其後別に新なる輸入はなきも何分昨年末の品物多數にして加ふるに需用は例に依りて例の如く殆んど皆無の姿なれば所有主は孰れも持ち余し居れりと云ふ

▲雜貨 邦人向き雜貨品は解氷迄は賣行皆無の姿なりしが解氷と共に多少は賣行く者と見へ輸入弗々之れあるを見る尙は支那人向き雜貨品は解氷當時は鐵嶺及び昌圖併に其以北に輸出せられたる者も少からず相當の荷動きありたるも昨今少しく其の景氣を減し居る如し然れども之を他の商品に比較すれば依然として最上の景氣を持續せりと云ふ

投書かご

▲トロックでゴロ／＼は苦力の闘氣がじれつたいと思召してか營口を纔に隔つる一里の途を遠しとせず白馬に鞭つて第二市塲附近の料亭へ毎日晝間のお慰みとは頗る粹なお洒落であるが餘り夢中で粹を極めて居らつしやいますと馬が逃げ出しますから丁度裏に空地のあるを幸ひ馬繫塲をお作くりに爲つては如何です……無論〇費で………（ツイ燒く生）▲元神廟街の或料理店は下婢が皆田舍のヒヨツトコ出であるので樓主が勝手次第な事をする女共に衣物を着せる時は五圓の代物を八圓の貸金に附込み板塲や帳塲や支那人ボーイ共の月給を拂ふ前に爲ると色々文句を付けて月給を減らす下婢は四分六分だが貸金には總べて一割の利子を取る酷い事許りやるので每々軍政署の御厄介と爲り無法な取扱に皆々面白く稼ぐ日は一日も無い皆泣き暮らして居る 新聞社さん何うぞ御筆誅を願ひます（み、も生）▲營口の物價は近頃餘程安く爲つたといふ話だが永世街の或雜貨店は依然として戰時否昨年通りの價で賣て居る爾ういふ高い處は買ひに行かぬ迄の話ぢやが營口の案內を知らぬ者はウツカリすると飛び込んで眼から火の出るやうな目に遇ふのが可愛想ぢや（△△生）▲近頃無籍の姐さんが市中に大分殖えたやうだが兎に角軍政署の寬大は慥に營口の一進步を示すので悅ばしい現象である（恐悅生）

●東京だより
四月十九日 烏山生

日々御惠送に預り候貴紙にて御地の花信懷かしく拜讀致居候、其後當地の花も大方は散り、浮かれに浮かれし二百万の都民も漸く眞面目に立返りつゝ有之候、當地に於て一般の注意を引きし今週の出來事は彼の警視廳の大々的改革、野口男三郎事件と新橋神戶間三等急行列車運轉開始並に只今着電致候桑港震災の報告等に有之候、御承知の如く警改の斷行は豫期したるもの、餘りに急速に而も斷行的なるに驚かされ候、從つて種々なる揣摩行はれ或る新聞の如きは警視廳の大動亂、廳員の總辭職なとゝ大袈裟なる號外を以て都下を騷かし申候、改革の原因は一般に彼の都下騷擾事件に關すと喧傳せらるゝも其筋にては全く之を否認致居候、兎に角此斷行は大に同情を引き申候、野口男三郎事件も昨日第三回の公判開かれ益々面白く相成候、彼の騷擾事件公判廷が每回淋れ行きつゝあるに反し之れは傍聽人回每に增加し昨日の如きは滿塲立錐の地なき程にて心理學者の多くを見受け候は特に注意を引き候、如何成り行くへく候哉、天下夢路を辿りつゝ有之候、待ちに待つたる三等急行列車の運轉は愈々昨日決行被爲候此列車は全く平民的にして官方の實行としては近來の大出來との評判にて其結果も頗る良好にして、新橋神戶間十三時間半の豫定に後るゝ事僅かに十五分、作業局頗る得意に有之候、此列車を捕らへんとする乘客を以てさしもの新橋停車塲も立錐の地なき程に候、平民黨萬歲に候はずや。桑港大震災の着電は只今號外を以て報告せられ滿都を愕かし申候、御承知の如く桑港は我國とは頗る關係密なる丈け夫丈け都下を騷かしつゝ有之候、近時帝都大震の豫報と云ひ、伊國ヴエスヴヰアス噴火と云ひ又々此報に接したる事とて一般の人心恟々として何にとなく落着かざる模樣有之候、匆々

●鶯 花信 初音のお雪さんは大坂の梅花女學校に居たこともある東京女子美術學校に居たこともあるといふ美濃と紙に三枚も履歷の書けさうな墮落猫であるが營口が詰まらぬから上海に行くと謂つて居るさうな此頃は何んでも理想の夫を探して居るさうぢや併し何うかいふのが好きかと問へば『曰く言ひ難し』と言つて澄まし込んで居る▲醉月の女共は每晚夜に爲ると第二市塲のトロックに乘つて彼處へガラ／＼此處へゴロ／＼乘り廻はして御運動が始まるげなチヤンの驛夫共眼尻を下げて左も恐悅の體で見物をして居る粹樣も營口の夜櫻でも看る積りで御出浮は如何でせう

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開點午分	到點午分
新民屯至清邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開點午分	到點午分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
[illegible]		

稅關手續 一、船舶輸出入荷物取扱

梅毒婦人科 專門 田太醫院

諸鐵工製作 營口 鐵

天氣豫報 營口地方 自二十七日午後六時至二十八日午後六時

小説

新作小説　おとし胤（四十八）

德田秋聲

「熱田さん、これ、何んといふ花でございませう。」

「それ………貴方、その花を知らないのですか。ふゝゝゝ。」

と馬鹿にしたやうに低く笑ふ。

光は、さツと顔を赧くしながら、

「私、田舍女でございますから。」

「いや、然う有仰ツては、恐縮ですな。はゝゝ。」

高らかに笑ツて、何が氣になるのか、頻に其處らを見廻してゐる。

光と熱田とは、唯ある丘の上なる林に沿ツた芝生の上に休むでゐるのであツた。熱田は、両足を投出して、紙卷煙草を吃してゐる、光は、跼みながら、折々手を伸ばして草花を摘むでゐるのであツた。彼女は、今摘むだ花の莟を鳥渡嗅いで見ながら、

「熱田さん、眞ンとに此の花は、何んといふのでございませう。」

と少し首を傾げて、狎へるやうに訊ねた。

「それは、紫苑といふですよ。」

「紫苑………何んだか、しほらしい花ですてね。」

「は、は、貴方のやうにね。」

光は、耳の根元まで紅くなツた。少時默ツてゐて、

「叔父さんは、ま、何うなすツたのでございませう。」

と思出したやうにいふ。

「然うですな。私も、其處らを見てゐるのですが、何うも來さうにありません。もう來なくてはならん筈ですが。」

「道をお間違へ遊ばしたのではございませんでせうか。ほら、あの三叉のところがあツたでございませう、彼處で。」

「さ。或は然うかも知れません。何しろもう少し待ツて見ませう。」

「は。」

と返事を、ハツキリしない。

「併しいゝんぢやないですか。叔父さんが居られんで淋しくはないですか。それなら、もう徐々歸ツて可いですが………」

と謂ひながら、熱田は、何故か、熟と光の顔を見詰める。

「………」

「いゝえ、そんなことはありませんけれども」

とかすれた聲で、面差げにいふ。

「然うですか。此うしてゐても可いですか。兩人で。」

光は、微笑を含むで、默ツて點首いた。

「若も待ツてゐて、夜になツて了ツたら何うします。」

と熱田は、眞顔に訊ねる。妙なことを訊ねたものだ。

「夜に？………」と光は、邪氣無い眼を瞬ツて、

「夜になるでございませうか。」

「或は、夜になるかも知れません。」

と眞面目。熱田は、笑ひながら、

「眞ンとに夜になるでございませうか。」

「いゝえ、夜になるかも知れんといふのです。なるとは謂はんですよ。何しろ此うして待ツてゐて、若も別の路を行ツたとしたら、それきりですからな。」

「それは然うでございますのね。」

と光は、些か心配になツて來た樣子で、首を傾げて考へてゐる。

話は、これで少時途斷れた。

熱田は、始終光の横顔をじろ〳〵瞶めてゐては、左らぬ躰で眼を豁らす。眼は能く物をいふといふが、その眼は確に何か謂ツてゐるやうだ。

不意に、

「だが、夜になツたツて可いでせう。怖いですか。え、怖いですか。怖いだけなら、私が手を引いて行ツて進げませう、ね、お嫌ですか。お嫌？………」

光は、瞥と熱田の顔を見たが、何故か、胸は、早鐘を撞くやうになツて、血は、頭へ逆上ツて了ツたかと思はれる。固より應とは謂はぬ。けれども否とも謂はなかツた。紅い鮮な頰には、また微笑が漂ぶ。

「お嫌ですか、え、お嫌………」と熱田は、ひつツこく訊ねて、さて返事が無いところで、突ツと立起ツた。そして「それぢや、もう歸りませう、ね、歸ると致しませう。」

と急立てる。けれども光は起たなかツた。何やら、いゝ、じ〳〵してゐる。やがて、

「でも、倘だ時間がありますから、もう少し待ツて見ませう。」

「然うですか。」と熱田は、氣の無さゝうに謂ツて、ふとまた「や、富士、富士！」富士が見えますよ。」

「何處に見えますの、私には、些とも見えませんの。」

「丁度林と林の間から見えるのですから、ま、此處へ來て御覽なさい。」

「然うですか。」

と光は、立起ツて、熱田と駢んで立ツて、

「ま、眞ンとに、奇麗ですてと！」

兩人は、何時か、ぴツたり寄添ツて了ツた。

春郊　紅雨

草を床に小牛の夢やかはるらむ
たわめし角に蝶驚かず

廣告

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より

患者の入院治療を諾す　貧困患者の施療は正午十二時より二時迄　姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院齒科開設　齒科醫　兒島市郎
（五月一日開設）
森病院（電話一五五）

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良齒科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豊三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ内外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贅セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム
四月十二日　營口有志者白

高野孟矩法律事務所
大連市監部通二丁目五百廿五番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋静岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

一料理用白味噌赤味噌、一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、上等鰹節、罐詰類、瓶詰雲丹、酒盜、コノワタ、一清酒澤龜特約並に瓶詰、一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度伏て奉願上候也
營口永世街第廿八号
雜貨商　大原洋行

追日暖氣相增候處各位益御淸榮之段奉大賀候陳者弊商會儀御當地開業以來各位の御愛顧を蒙り候段難有奉深謝候然るに此度都合に依り引揚歸國致事に決定致し候間何卒不相變御交誼の程願上候先は以紙上御挨拶如斯御座候也
追而御文通の御方樣は長崎市萬屋町酢屋宛御發信被下度候也
營口永世街第九十六號市街鐵道西
長崎酢屋出張所　長門商會

古料理
満月
平野町（電一六二）
満月支店
平野町入口
店主　青木勝恵

和洋雜貨
盛進商行
新着
椅子【卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

開業
日華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
月日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司
廣告

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

御料理
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ雪月花ノ會席仕餘ヘ御意ニ從ヒナンデモデス
ゲンシン ビヨガイ　まつのや
新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ますふで
まつのや藝妓　松吉　仝　二〇か　仝　牛莊　義太夫
御客樣方

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

大阪商船會社荷客取扱所　內外船舶代理係貨借仲立　輸出入税関手続
瀛船出入案内
多聞丸　二十九日出帆　門司、横濱行
湖洲丸　三十日入港
汕頭丸　五月一日入港
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尚御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業
西北街　德重洋行

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店　高砂ホテル

抽籤廣告
豫て御客樣方へ差出置候景品付切符は未だ豫定の半數にも不滿從て御約束の通り抽籤もなり難く今日に及び候へ共何分多數のこと故何日盡くべくも難計候に付一先〆切と致し愈々明日曜正午弊亭に於て抽籤の上夫々景品差上可申候間切符御持參の御方は當日隨意御立合被下度此段廣告仕候
月日
營口元神廟街二〇九號
翁亭

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊ひを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候
營口二本町
梅廼家
店主　田村瀧太郎

旅館　御料理
扶桑館
奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

和洋御料理
一力
舌代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

時下艷春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
營口二本町
祇園閣旅館部　敬白
各位
主人（電話一四四番）

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）
西洋料理仕出し御需に應ず
即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）

質屋營業
精々勉強御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南憲第三十六號
北斗洋行質屋部

元神廟街憲甲第二三〇號 宅合名會社支店

當店義都合有之本月限リ閉鎖仕殘務ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

宅合名會社 營口支店 閉鎖廣告

御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候 清酒 澤龜 印 ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也

西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院内ニテ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也

明治三十九年四月廿五日

宅洋行

胃腸病新藥

消化劑 糖化素

医学得業士 矢島氏發見

滿洲特約一手販賣 東瀛大藥房 營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効

發明者日本醫學得業士 矢島猴太郎 謹曰

天興洋行

(電話百三十七番)

雜貨商 (元神廟街)

本行開設營埠已週一載幸蒙貴客荷愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡臉婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓

銘酒 白鶴

諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣直段より壹割引 酒及米、鑵詰類は五步引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

井門洋行 營口元神廟街 電話一八五

遼陽西門外 仝支店

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はす和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一

土木部主任技師 永原万吉

營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)

土木建築請負業 井上公司

萬代不朽 毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なりリサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)

井上公司

日本有名秘藥物發售廣告

[illegible] 無論零買躉賣均可 [illegible] 此告白

回春堂大藥房 (電話百九十番) 三木洋行 啓

大日本有名帝國方劑 化粧品 賣藥並一切小賣

[illegible]

回春堂大藥房 (電話百九十番) 三木洋行

發賣 木料 標子 木板 鹽川商會

清國營口二本町二五五號 主任 鹽川峯吉 (電話一三六番)

遼陽小西門内 鹽川商會

外に
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

●建築

豐生洋行

官製口付莨、文房具 和洋酒類 罐詰、菓子 藥品、雜貨 醬油瓶樽詰 防寒具、安價販賣

白米 卸商

營口西北街 (電話十三番)

軍隊用雜貨 日用品雜貨 吳服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類 卸小賣

其外新荷着精々安價販賣

營口永世街七十號(第二市場東)

石原商店

美味安價西洋料理 牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

マニラ製、エヂプト製紙卷烟草大販賣所 (第一市場南側)

當店に於て販賣致候葉卷烟草及紙卷煙草は毎二ケ月直接「マニラ」及「エヂプト」より輸入の新荷を以て悉皆引換へ全く新鮮の品より外販賣不致候間一層の御愛顧を給はり度候

尚賣殘りの品は新荷と入替の爲め二ケ月毎に競賣に附して賣却可致候

エン、マリホールド

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

稟告

弊樓儀營業以來日尚淺きにも拘らず各位の御引立に依り益々繁榮仕候段難有奉鳴謝候就ては今般弊樓向側木村旅館を讓受け居室を修繕し料理萬端大に改良を加へ旅館營業仕候間弊樓同樣御引立を蒙り度此段偏に奉希上候敬白

月 日

營口永世街五十七號 三日月樓主

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷 幷に製本

弊所特色 ●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確

營口入口世街東二本町角

川本活版所

千客万来

一 內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一 海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一 鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一 船舶貨物取扱
一 其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大淸運運公司 營口支店

宮門抄

三十日　理藩院　光祿寺　八旗兩翼值日無引見

召見軍機

皇上明日卯初二刻至

太廟行禮畢還海

陸寶忠遞封奏一件

上諭恭錄

三十日奉

上諭浙江金華府知府員缺着嵩連補授欽此

論説

廣智説

天地之大。世界之寬。凡芸生茂育於兩間者。要不過分以三種。而其類自賅括而無遺。蓋有知覺運動。兼有思想者。謂之靈魂。有知覺運動。僅知趨避而無思想者。謂之覺魂。其有生機而無知覺運動者。謂之生魂。靈魂者屬之人。覺魂屬之動物。生魂則專屬之植物。同一也。而係之曰靈。可見人爲萬物之靈。無論動物之如何蹻捷猛鷙。植物之如何繁衍茂密。舉無足以較優勝於人可知也。又無論動物之狂縱奔放如何其劇烈。植物之蓄盛堅實如何其森蔚。舉宜爲人之所制人之所用可知也。是物固無靈於人。人自遠靈於物。此以人與物較也。若以人與人較。此靈而彼亦靈。於此而欲較其優勝。則天賦之靈。或不可恃。必求其所以推廣擴充。不囿此固有之靈機而後可。亦必求其所以試驗練習增進此學成之靈性而後可。則廣智尚已。夫智欲其廣。固人人之所習知。人人之所深願。而其勢有所不能者。則以限於程度。失於研究之故。如各國科學之所謂智育者。明乎人必求智。而德育體育乃非傀儡之行。所謂哲學者。顯示求智之方。而動作云爲。始無茫昧之慮。假如士不廣智。雖書盡五車。學富三餘。而斷簡殘編。率多陳迹。使當折衝樽俎。禦侮敦盤之會。僅思以毛錐三寸。橫掃千軍。是猶之楚而北其轅。適秦而東其轍。有失之愈遠而已。農不廣智。則高原宜麥。而惟黍是求。下隰宜稻而思稷之種。他如肥腴之處。何以善其栽培。磽瘠之區。何以資其發達。若僅冒然從事。將見人溢倉箱。而彼嗟杼軸。有難望其豐盈者矣。工不廣智。製一物而恪遵土法。絲毫不敢更張。不問其暢銷與否。成一器而莫改舊觀。謹守高曾矩矱。不恤乎好尚何如。縱他人別創新奇。因研求之著。得專利之權。而彼尚循其故步。惟恐失之也。則愚甚矣。至於商不廣智。則拘於方隅。而不通大勢。無論環球各國。商界之盈虛消長不得而知。即一國之商業通塞。一省一埠之如何消耗增加。皆茫然不解其故。於此而欲較勝於商戰時代。勢必不能。況今日之商界。又有非昔日時勢。所可同年而語者乎。外人之所以謀我者。必竭其心思。逞其才力。以求必勝而後已。而我國商業家。依然守舊。不思大加改良。起而與之競爭也。有坐失機宜日見侵削而已。兵不廣智。器械雖精。適以資敵。行列雖整。莫克攻堅。即終日嘵嘵尚武。不過徒存其形式。而無由振起其精神。欲一兵得一兵之用。一將盡一將之材。是固不能之事也。有終歸挫敗而已。反是以思。則士務其實。勿爲虛文。日起有功。而智自廣。國家有不勝用之人才。農丁廣智。則無不盡之地利。荒田亦變爲腴田。無不造之精徽。生貨均成爲熟貨。商賈達於情勢。懋遷可遍五洲。士卒竭其材能。武功高於列國。總之箇人俱求廣智。尤在於箇人皆知愛國。苟機變多而爲亂。朝廷愈多難治之民。才識進而合群。國家乃收城壁之効。方今國家極力興學。新政萬端。振起頹廢。興學者何。爲我四萬萬國民。廣其智識也。新政者何。爲我四萬萬國民保其身命也。故今日者。處競爭最劇最烈之世界。優勝劣敗。強存弱亡。國民皆智則其國盛。國民皆愚則其國衰。民之智愚國之盛衰系焉。則求廣其智之目的。即求強其國之目的。其用雖萬殊。其體則一本。國固不能離民而獨立。民亦不能舍國而獨安。故不可以不愛國。尤不可以不廣智。以植愛國之基焉

中外要聞

●烏城允設俄領　俄駐京璞使照會外部請按照恰克圖條約允在烏里雅蘇台設立俄國領事署外部當即電詢烏里雅蘇台將軍應否照允茲聞烏里雅蘇台將軍覆電言勘查情形照允俄國開設領事署於商務有益毫無窒礙希轉達俄使照允等語前經外部照會俄使照允俄政府已調駐烏魯木齊領事某君任爲駐烏里雅蘇台領事想該領事業已啓程首途矣

●藏約將成　西藏條約上年春間派唐少川侍郎赴印度喀爾喀打與印度總督議約爾後殆磋商至一年之久未見議結前經外部與英使磋商提京議約究於上月二十九日聞有藏約已見議結之説以事關重大未敢深信然聞確實消息此果係的確已經日前議結將由中英兩國委員互換簽押矣但其內容如何雖未能探悉然其大旨從原約稍行增損且由英國承認不干預西藏內政及中國對付藏番政治總而言之英國承認藏番爲中國藩屬而中國承認英國於西藏佔有優越利權也按西藏條約自開議以迄今日殆年餘外部與英國互相堅持兩不相下將見決裂者不止一次而今見議結蓋由中英兩國互相推讓以全國体則此項條約於中英殆兩有利益也

●警員擬改軍服　探聞警部堂憲擬仿北洋巡警章程嗣後凡在部人員不時到署當差均須操服掛刀以振尚武精神惟聞一時未便全行改易故議先自司員以下一律易服其司員以上暫從緩議云

●俄國又有震災　駐俄國欽差胡大臣有電致外部聞係爲報告俄國與咳爾喀部交界之懿爾古磁克省耶尼塞斯克省等處均有地震之事

●委員劃收東清鐵路　東清鐵路寬城子以南一帶利權前曾由俄國賠交於日政府約案具在固中外所共知現聞日政府遴派委員中村少將參謀本下中佐等均前往該處擬訂陽本月二十一日與俄軍司令部委員會同將該鐵路一併繳收免致再生枝節

●英美忠告俄國　探聞英美兩國近向俄國忠告略謂貴國急宜撤銷滿洲駐備軍一併開放各埠地方以便於列國貿易庶足信約案全書而同盟誼惟應趨期辦理妥調免致生成嫌疑焉則遠東之憂莫逾於此者云云

雜報

●俄使申明政府之意見　美國來電云駐美俄使羅晋前曾將本國政府意見申明若日第二次萬國弭兵會議俄政府尤宜駁詰日本不依國際公法擅啓釁端之罪即俄軍在仁川旅順口等處曾未接到宣戰公報而遽然長驅唐突恣將其海軍襲擊是乘其不備而逞暴力者俄政府擬將此事提倡並待列國如何裁奪或云是事是事日政府未接照會或係羅氏一人意見抑係訪事員所揑造均未詳其孰是但俄人性情鷙悍徵其平時之擧措或有此實事未可知姑爲存疑焉可也

●商界風潮　昨聞市人云本埠恒有爲恒有豫記棧及恒有長諸銀爐虧空甚鉅先前彌縫他商多未得悉今已底濫外洩　商均知核其財東家資僅有東錢二百萬緡難敷債欵又本埠某商接外城來電言某某鉅商關閉共欠營埠商債一千餘萬兩尚未悉某家多寡故本埠諸商一律清兌賬碼昨日街市川換銀錢等事殊覺艱窘大有擁塞不通之勢云

●女伶遭劫　北來人云奉化縣五站迤南至鶯鷺樹向爲日俄兩軍分據之界中間一百二十清里因無主管轄致鬍匪藉爲淵藪出沒搶劫雖有華兵勢難兼顧行人多迂道避之指該處爲鬼門關蓋因過往維艱云本埠茶園有女伶桂鳳者樂部花叢之班首也於前數日由哈爾濱某班遣人來邀高價聘往鳳有義父李某係東鐵路脚行頭精於武技保鳳仝往至五站除鬼門關處行人如織遽聞前有馬賊當鳳未行賊早偵悉伺劫於路鳳亦預知改扮男裝聞即委車匿跡群十賊見空車就衆捉鳳出賊首甲挾之馬上馳去次日某乙超乘稍遲被李拽踣出刃戳之要鳳索還甲見乙被戮急遣從騎來救一賊彈射李之股際正在危急華兵掩至盡將數賊圍捉李同鐵嶺敷創惟桂鳳被甲挾去不知下落云

●捐役擾民　昨聞東鄉人云現大石橋牲畜捐十巡等遍向鄉村清查圈底凡大小牲畜均注册納捐且該巡等到處稍有不遂即設法勒索以致民情惶惶隱憂莫釋昨有官場人云此蓋當道諸公奏陳富國諸策所致詎無奈任事人先私後公專務爲巳朝廷得捐稅一分則民庶受荼毒十倍剝民罔利固又不止此一端已也噫有地方之責者其尚以斯言爲戒歟

●車傷日人　昨由溝幇子來人云前日有一日人在鐵路間徘徊瞻眺適有汽車飛來查路者見爲日人未肯惡聲驅逐轉瞬車至日人引避不及右股拽踣軌上戞然軋折時值前稅司黑澤公赴彼立命舁往醫院調治聞不致殞命云

笑林

●不喜談新　冬烘先生某甲一物不知平日居鄉以授徒爲業自停罷科擧後其子曰詩云事業遂無人過問因此忿甚凡聞人談及新學新政無不被其痛罵人憐其愚而老亦不與之計較由是日益貧困不得已來此仍欲授其猛訓伎倆以誤人子弟不料到此月餘無過問者于是益忿適屆丙午歲首某乙見之因揖之曰恭賀新年甲怫然曰烏用是余乃不喜談新者毋爲此語以嘔人也乙知其懵且憐其貧困于懷中取出新銀元一枚與之甲欣然接受且道謝不巳乙曰此新銀元也子不喜新胡受此甲曰不然余之不喜談新者謂新學新政余無畷飯處故惡之至于新銀元固余所最喜者如之何不受乙因嘆曰原來不喜談新者如是如是

NEWCHWANG, SATURDAY, APRIL 28, 1906.

Capt. Henry Stevens Lawrence passed away at 8 yesterday morning.

The funeral will leave the residence south of the Recreation Ground for the cemetery at 4.30 this afternoon. All friends are requested to attend the ceremony.

Capt. Lawrence was born in Dresden, Maine, U.S.A. on April 16th 1842. He took to the sea early in life as apprentice on board his father's ship, and first came to China in the schooner "Dashing-wave" in the '60s.

During the 40 odd years cruising the China coast, he has captained some half a dozen sailing ships. It has been a career full of exciting adventures and narrow escapes. He was twice shipwrecked, but in each case, help came to him fortunately before too late. Once, he came near being overcome by the poisonous gas of the "stink-pots" pelted at him by a band of pirates trying to board his vessel, but drove them off after a desperate struggle. In another encounter as serious as the first, he was severely wounded in the leg by a charge of grape-shot. It necessitated a surgical operation which kept him in hospital in Chefoo for several months. He could never quite get over the effects of the wound dated about 30 years back, nor of a bad chill contracted in Australia 35 years ago.

Early in '93, Capt. Lawrence gave up his command of the "Walter Siegfried" to enter the pilot service and settled down at Newchwang. A year later he had an attack of the dreaded cancer which developed into an alarmingly virulent form by the end of the year. He betook himself to Shanghai to be operated upon, but returned in the following spring professionally doomed to die in 2 brief months' time. It is said he received this cruel verdict philosophically and used to remark to his intimate friends with perfect equanimity that not expecting to live on earth forever, he was quite prepared for death in his ripe years.

Then he happened to read of the "violet cure," a patient application of which appeared to work wonders, enabling him to resume his duties last fall.

However the relief turned out to be only short-lived. The deep-seated root of the disease having been left untouched by the cure renewed its pitiless ravages about the beginning of last winter.

The resigned patient had suffered racking agonies till within a few days of his death. The rare fortitude he had borne all with is an object of admiration no less than the unfailing courage with which he had calmly faced his slowly approaching fate. His sore trials could never sour the sweetness of temper, and not a small act of attention shown him in sick bed by his friends failed to call out a courteous acknowledgment from him. Kind and generous to a fault, the deceased gentleman made himself a special favourite with young children, to whom his appearance on the bund used to be a signal for joining in a merry procession about him.

We join in tendering our condolence to his widow in her bereavement.

We have to announce the impending departure from the port of Mr. W. Nikitine, the Russian Vice-Consul, by steamer for home *via* Shanghai and Japan. During his 3 months' tenure of office, Mr. Nikitine has done so much towards building up mutual friendship on a new solid basis that his early transfer is to be sincerely regretted.

We wish him a pleasant travel, *bon* voyage, and increasing success.

Yesterday's Tokyo telegrams state that H.I.M. the Emperor has intimated his desire to offer Y. 200,000 for the aid of San Francisco. President Roosevelt has been thereupon communicated to by the Foreign Minister. At a meeting of 45 bankers and businessmen of Tokyo and Yokohama held at the official residence of the Foreign Minister on the evening of the 26th inst., Y. 200,000 has been subscribed to the same end in 2 minutes.

(April 27, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	101¼	LONDON	Bank T.T.	2/-5/8
	" Dem'd	101½		" De'd	2/- 11/16
	P'ate 15 d/s.	102¼		Cr. 4 m/s.	2/13/8
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	50
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	50¼
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr. 4 m/s.	52
TIENTSIN	Bank T.T.	102¾	Bar silver	- - -	30 7/16
	" Dem'd	102½			
	P'ate 10d/s.	101½			

時刻

區間	發	發
山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五
唐山至天津	上六、一二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
天津至唐山	上一一、四二	下五、一七
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝邦子至新民屯	上三、〇〇	下六、五七

一、爲替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場北三階樓　時計店ノ二階
宮原公司

輕便入院
永世街警務課ノ前

土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

喜場
門會　街東

豫報

昨日ノ氣温　昨年との
昨日最高温度六十一度〇　高二度五
最低温度三十七度六　低ト度三

營口旅館料理店案内 (いろは順)

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎
旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉
料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎
旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程
料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏
料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎
料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好
旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ (電話一四五番)
旅館 竹村館 永世街二十二號 (電話五一) 店主 麻田久二
旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎
料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一
料理 萬梅 豐濟門街第百〇四號 店主 田島彌助
料理 まんなをし 永世街字二本町二百平九号 店主 和田常松
和洋御料理 公樂園 南永世街
東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟(電話百五十九)
旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎
料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉
料理 喜樂亭 營口元神廟街
旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎
きるそば 第一更科 營口元神廟街
きるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 豐濟門街二三 店主 玉岡益人
御料理 叮嚀專一 一力 營口永世街 店主 堀万助
御料理 並ニ溫泉 毎日新湯 營口元神廟街一四三号 住松信大盛
和洋料理 松月亭
料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館(電話一五)
和洋御料理 日清俱樂部 奉天大南門裡大街 (電話一四)
商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉 (電話號)
會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側 奉天小西門通(元紅葉館跡) 溫泉付大勉強キレーデヲイシヒ (電話號)
旅館料理店 日の出樓 奉天小西關大街南側 樓主 大瀬七造 (電話十七號)
旅館料理店 日盛館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 入汀龍男(電話號)
旅館料理店 梅松館 館主 押尾富次郎 (電話號)
旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ
旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行
奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上
旅館御料理 高砂館本店 奉天十間房第十五號
高砂館支店 奉高館 奉天城外廿四號 店主 宇本智平
旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎
高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街(電話號) 主任 藤島初野
御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外 北長發園隣
高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北 (電話二十五號)
旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字街南へ入
牛肉すき燒 雞肉 日章亭 (電話號)
旅館料理店 旭館本店 奉天小西關
旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉(電話号) 奉天小西門外大街路北
御旅館 瀋陽館

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松
御料理會席 菊水館 主任 朝枝團揵
旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉
旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基
御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟
御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎
旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉
遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽俱樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎
會席 玉家 主任 西野治三郎
御料理會席 來々亭 主任 石田清
和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門二一七号 上松榮治郎

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天小西關新來富街々 御料理本店 金城館 (電話十九)
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル (電話二〇)
營口永世街 御料理支店 金城館 (電話八三)
營口永世街 御旅館支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理支店 金城館
大連市吉野町 御旅館支店 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとこゝに一言申添置候

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館 (電話百三十)
各位樣

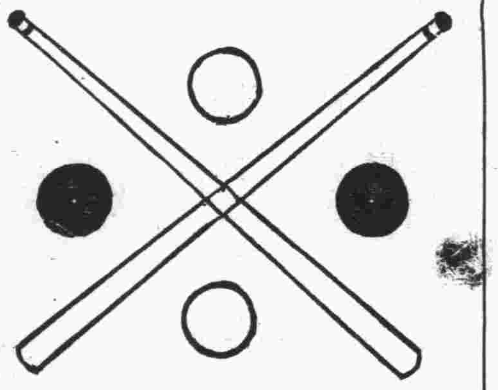
着荷廣告

筑前博多單帶、伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、等勝手道具いろ〳〵 萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、
營口 加藤洋行 (電話八十番)

四月十八日ヨリ仝廿八日マテ本社事務員仝診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候
明治生命保險株式會社牛莊代理店 加藤洋行

營口元神廟前 飯塚工程局材料部 (電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

大連 東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町



五月一日開業
東京新臺到着
今回主人直接東京へ出張無類の好臺を手に入れ參り候間何卒御來遊奉願上候
五月六日玉大競技會
元神廟街 第二軒 (第三樓の向横町)

金舛洋行
盛進商行

爲替相場 (四月二十七日)
日本向 百〇一圓 (軍票百圓に付)
上海向 七十一兩二十五錢 (同)
天津向 一百〇二圓五十錢 (百弗に付)
芝罘向 一百〇三圓五十錢

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖(六十枚) 六十錢
一仝 狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上十六圓五十錢
一座ブトン 十帖 五圓五十錢以上三十五圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一薄樣 十枚 八圓
一麻緞通 仝 疊敷 三圓
一綿緞通 三圓五十錢
一由加多緞 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙